

児童相談所における「立入調査」の実施状況について

調査結果

※平成 15 年度に立入調査実施がない場合は、平成 13 年度又は平成 14 年度に実施した事例について調査。

平成 16 年 6 月 30 日

児童相談所における「立入調査」の実施状況について

調査結果（平成16年6月30日）

調査時期：平成16年5月～6月

調査対象：182児童相談所

回収率：100.0%

1. 立入調査実施の有無

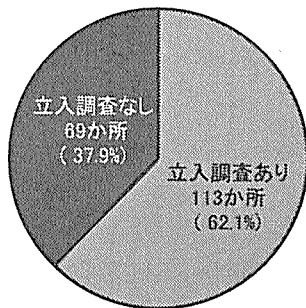


図1 過去3年間（平成13～15年）における立入調査実施の有無（n=182児童相談所）

表1. 立入調査実施の有無

	立入調査あり				立入調査なし
		15年度	14年度	13年度	
182児相	113	97	9	7	69
	100.0%	62.1%	53.3%	4.9%	37.9%

*平成15年度に立入調査実施がない場合は、平成13年度又は平成14年度に実施した事例について調査。

2. 児童相談所別立入調査件数

立入調査事例総数 281件

表2. 児童相談所別立入調査件数

立入件数	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件	11件	14件	19件	
児 相	55	29	11	5	3	2	1	1	1	2	1	1	1	113
割 合	48.7%	25.7%	9.7%	4.4%	2.7%	1.8%	0.9%	0.9%	0.9%	1.8%	0.9%	0.9%	0.9%	100.0%

3. 立入調査の目的達成度

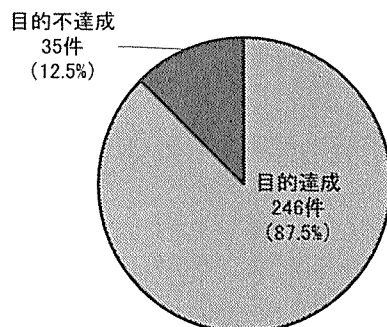


図3 目的達成度（n=281件）

表3. 立入調査の実施の状況

区 分	立入件数	警察への協力要請	
		あり	なし
実施回数	281件	172件	109件
	100.0%	61.2%	38.8%
目的達成	246件	150件	96件
	100.0%	61.0%	39.0%
目的不達成	35件	22件	13件
	100.0%	62.9%	37.1%

4. 警察への協力要請

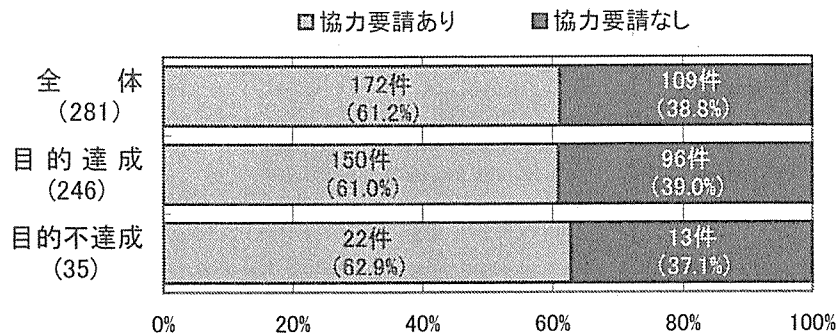


図4 警察協力要請の有無 (n=281件)

5. 主たる虐待の種別

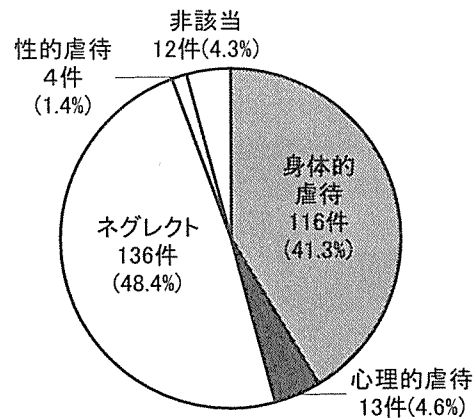


図5 主たる虐待の種別 (n=281件)

6. 主たる虐待者

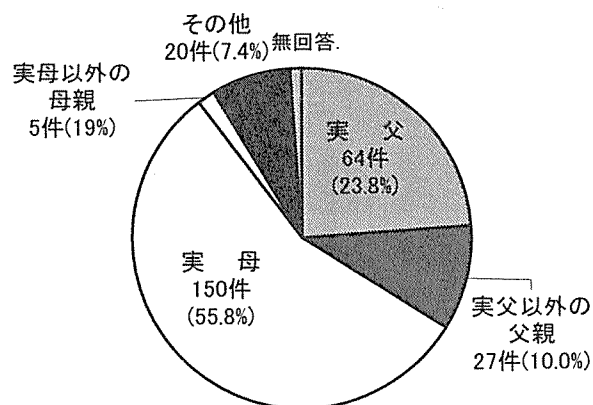


図6 主たる虐待者 (n=269件)

7. 立入調査の場所

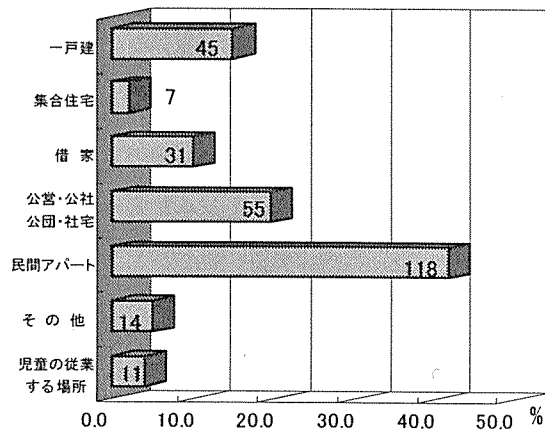


図7 立入調査の場所
(n=281件、グラフ中の数値は事例数)

8. 立入調査までの訪問先調査

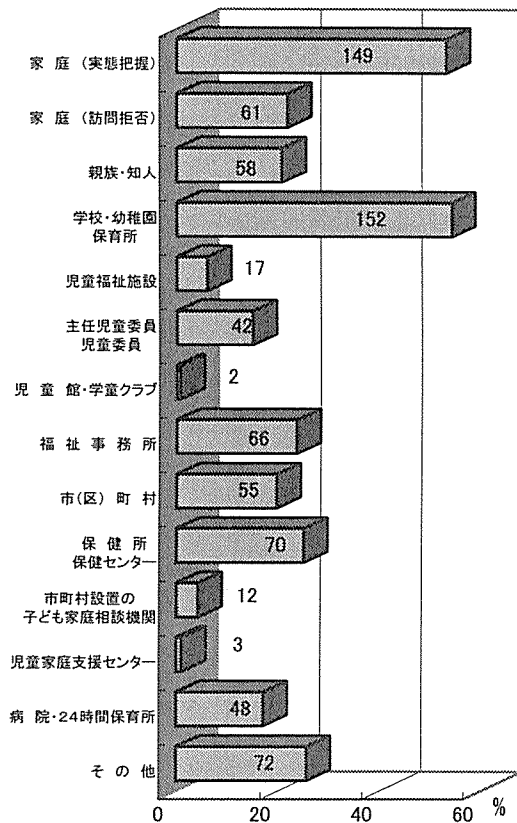


図8 通告から立入調査実施までの訪問先調査
(n=281件、グラフ中の数値は事例数)

9. 立入調査前の会議の開催回数

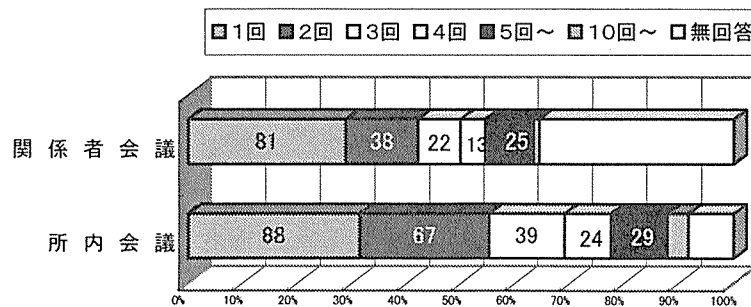


図9 会議の開催回数
(n=281件、グラフ中の数値は事例数)

10. 事前協議（児童相談所によるマネジメント）

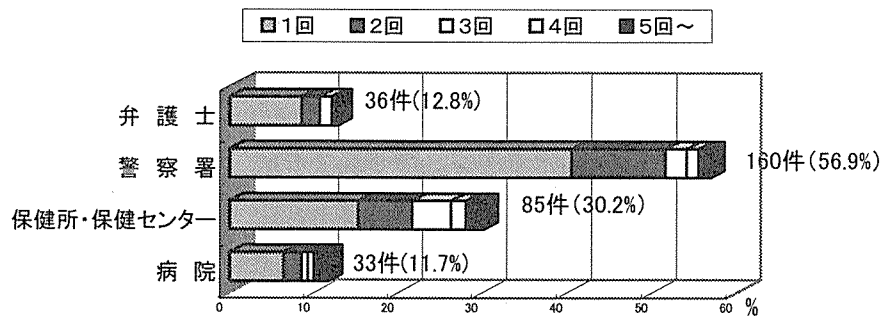


図10 事前協議（児童相談所によるマネジメント）
(n=281件、件数・割合は「あり」を示す。複数回答あり)

11. 通告から立ち入り調査実施までの日数

表11. 通告から実施に要した日数

	総数	3日未満				3日以上					1年 以上	無回答
		当日	1日	2日		3日～	10日～	31日～	91日～			
通告から決定に要した日数 (A)	281	134	52	66	16	130	38	32	31	29	11	6
	100.0	47.7	18.5	23.5	5.7	46.3	13.5	11.4	11.0	10.3	3.9	2.1
立入決定から実施に要した 日数 (B)	281	209	83	104	22	60	39	15	5	1	0	12
	100.0	74.4	29.5	37.0	7.8	21.4	13.9	5.3	1.8	0.4	0.0	4.3
通告から実施に要した日数 (A+B)	281	109	44	6	59	148	52	31	34	31	11	13
	100.0	38.8	15.7	2.1	21.0	52.7	18.5	11.0	12.1	11.0	3.9	4.6

12. 立入調査実施に当たって動員した人数

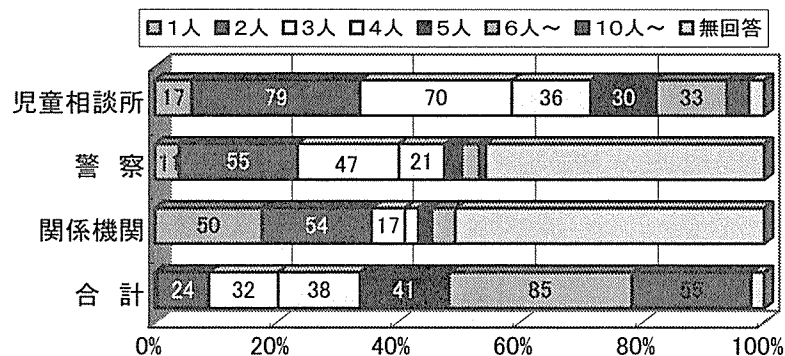


図12 立入調査の実施に当たって動員した人数
(n=281件、グラフ中の数値は事例数、複数回答あり)

13. 立入調査実施の体制

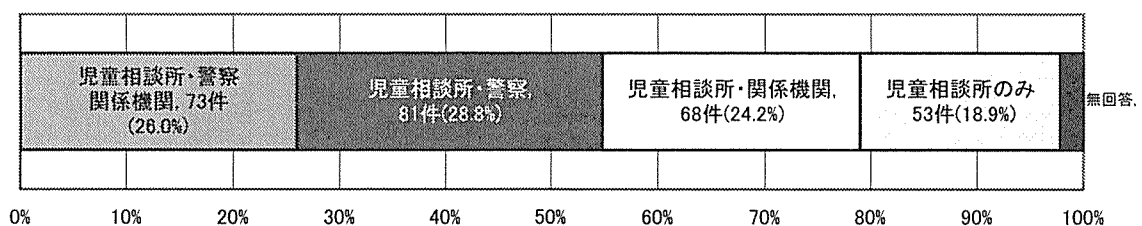


図13 立入調査の実施の体制 (n=281件)

14. 警察への協力要請依頼

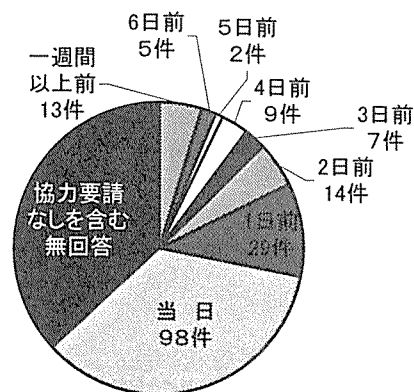


図14 警察への協力要請依頼の時期
(n=281件)

15. 立入調査時の保護者の状況

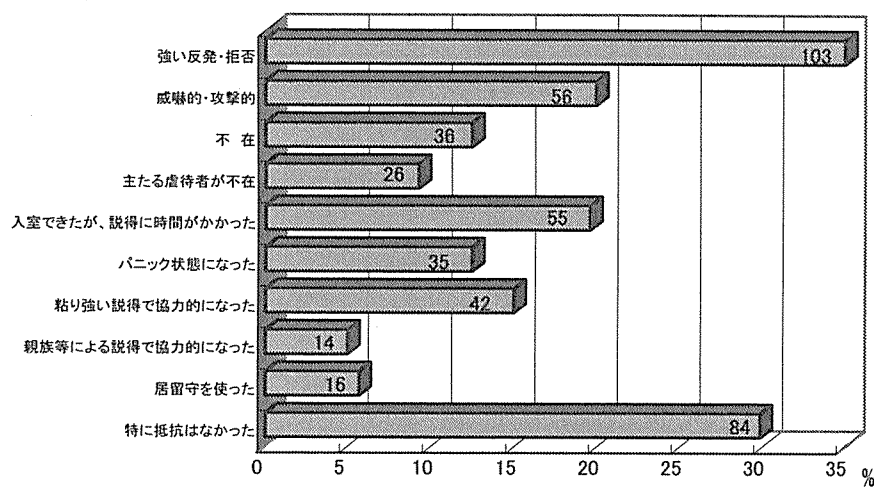


図15 立入調査時の保護者の状況
(n=281件、グラフ中の数値は事例数、複数回答あり)

16. 立入調査時の保護者への対応

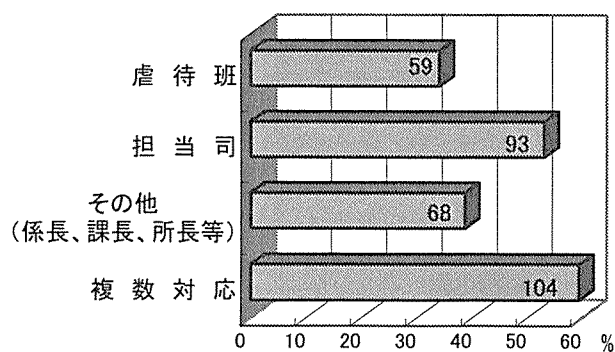


図16 立入調査後、子どもを一時保護した場合の
保護者対応の担当者
(一時保護をした事例 n=175件、グラフ中の数値は事例数、複数回答あり)

<資料>

児童相談所における「立入調査」の実施状況について (アンケート用紙)

※平成 15 年度に立入調査実施がない場合は、平成 13 年度又は
平成 14 年度に実施した事例について調査。

立入調査【児福法29条、虐防法9条】の把握について

- 1 調査の名称 児童相談所における「立入調査」の実施状況
- 2 調査の目的 各都道府県の児童相談所における「立入調査」の実施状況をより詳細に把握することにより、「立入調査」に伴う困難な実情を明らかにし、今後の児童相談所の運営に役立てる。
- 3 調査の対象 平成15年度中に、児童相談所が実施した「立入調査」を対象とする。

なお、この調査は児童福祉法第29条及び児童虐待防止法第9条に基づいた「立入調査」とする。

※15年度に立入調査実施をしていない場合には事務局へご相談下さい。

4 調査の事項

- (1) 立入調査実施件数
- (2) 主たる虐待の種別
- (3) 主たる虐待者
- (4) 立入調査実施の場所
- (5) 目的不達成原因
- (6) 立入調査時までの活動状況
 - (6)-1 通信回数
 - (6)-2 通告から立入調査実施までの家庭など訪問先調査
 - (6)-3 会議の開催回数
 - (6)-4 立入調査の要否判断
 - (6)-5 事前協議
 - (6)-6 通告から立入調査決定までの期間と立入調査実施までの期間
 - (6)-7 立入調査の実施に当り事前に役割分担等の打ち合わせの実施
 - (6)-8 立入調査実施の体制
 - (6)-9 立入調査時の保護者の状況
 - (6)-10 立入調査後子どもを一時保護した場合、保護者の対応は誰が行ったか、また警察への要請
 - (6)-11 一時保護中の面会通信の制限をした理由
 - (6)-12 一時保護直後の保護者の態度
 - (6)-13 一時保護中の子どもの様子
 - (6)-14 一時保護した子どもの処遇方針

No.		児相名		対象年度	
-----	--	-----	--	------	--

(1) 立入調査実施件数

・立入調査指示書を発行した場合の実施件数

区 分		立 入 件 数	
実施回数		件	(警察へ協力要請あり (件))
		件	(警察へ協力要請なし (件))
	目的達成	件	(警察へ協力要請あり (件))
	目的達成	件	(警察へ協力要請なし (件))
	目的不達成	件	(警察へ協力要請あり (件))
	目的不達成	件	(警察へ協力要請なし (件))

・立入調査指示書を発行しないで実施した場合の実施件数

区 分		立 入 件 数	
実施回数		件	(警察へ協力要請あり (件))
		件	(警察へ協力要請なし (件))
	目的達成	件	(警察へ協力要請あり (件))
	目的達成	件	(警察へ協力要請なし (件))
	目的不達成	件	(警察へ協力要請あり (件))
	目的不達成	件	(警察へ協力要請なし (件))

ここで調べる立入件数は・・・児福法29条、虐待防止法9条による児童の住所もしくは居所又は児童の従業する場所への立入の調査の件数とする。従って兄弟ケースの場合は1件としてカウントしてください。

No.		児相名		対象年度	
-----	--	-----	--	------	--

(2) 主たる虐待の種別

区 分	件 数
身体的虐待	
心理的虐待	
ネグレクト	
性的虐待	
合 計	

区 分	件 数
非 該 当	

No.		児相名		対象年度	
-----	--	-----	--	------	--

(3) 主たる虐待者

区 分	件 数
実 父	
実父以外の父親	
実 母	
実母以外の母親	
そ の 他 具体的な関係を記入 []	

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

(4) 立入調査の場所

立 入 場 所		件 数
1	持 家	件
	一 戸 建	件
	集合住宅	件
2	借家・賃借住宅等	件
	借 家	件
	公営・公社・公団・社宅	件
	民間アパート (賃貸マンションを含む)	件
	そ の 他 具体的場所を記入 []	件
3	児童の従業する場所 (労働・集団生活等を強いられている場所) 具体的場所を記入 []	件
合 計		件

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

(5) 目的不達成原因

目的不達成の原因内訳

(立入証票と立入調査指示書(発行)で立入調査を実施したことが前提)

区 分	件 数	警察協力への 要請あり	警察協力への 要請なし
施錠による入室拒否	件	件	件
施錠していないが強い入室拒否	件	件	件
入室はできたが親が子を離さなかった	件	件	件
保護者及び子どもが不在	件	件	件
子どもが不在	件	件	件
そ の 他 具体的記入 []	件	件	件
合 計	件	件	件

(立入証票と立入調査指示書なしで立入調査を実施したことが前提)

区 分	件 数	警察協力への 要請あり	警察協力への 要請なし
施錠による入室拒否	件	件	件
施錠していないが強い入室拒否	件	件	件
入室はできたが親が子を離さなかった	件	件	件
保護者及び子どもが不在	件	件	件
子どもが不在	件	件	件
そ の 他 具体的記入 []	件	件	件
合 計	件	件	件

No.		児相名		対象年度	
-----	--	-----	--	------	--

(6) 立入実施までの活動状況

- ・立入調査を実施するまでにケースによっては大変な手間と時間を要する各児童相談所でどのような立入調査をしているのか実情把握をする。
- ・それぞれ個々の立入調査事例ごとに記入してください。
- ・不足する場合はコピーしてご回答ください。

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

(6)-1 通信回数

(この件に関して正確なカウントは難しいと予想されますが、相手先・親類・関係機関等あらゆる物を可能な限りカウントをして下さい。)

区分	立入事例1	立入事例2	立入事例3	立入事例4	立入事例5	立入事例6	立入事例7	立入事例8	立入事例9	立入事例10
電話	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数
文書	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数	延べ回数

以下は、

- ・ 個別事例ごとに回答してください
- ・ 複数事例ある場合は必要な部数をコピーした上で回答してください。
- ・ なお、左上の【立入事例 】の番号を記入してください。

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例】

(6)-2 通告から立入調査実施までの家庭など訪問先調査

区 分		延べ回数
家 庭	実態把握	回
	訪問拒否	回
親族・知人		回
学校・幼稚園・保育所		回
児童福祉施設		回
主任児童委員・児童委員		回
児 童 館・学童クラブ		回
福 祉 事 務 所		回
市（区） 町 村		回
保 健 所・保健センター		回
市（区）町村の設置する子ども家庭相談機関 （東京都の場合、区市町村ごとの子ども家庭支援センター）		回
児童家庭支援センター		回
病 院・24時間保育所		回
そ の 他 具体的記入 		回

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例 】

(6)-3 会議の開催回数

区 分	延べ回数
関 係 者 会 議	回
所 内 会 議	回

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例 】

(6)－4 立入調査の要否の判断

・複数回答可

区 分	チェック
学校に行かせないなど、子どもの姿が長期にわたって確認できず、また保護者が関係機関の呼び出しや訪問にも応じないため、接近の手がかりを得ることが困難であるとき。	
子どもが室内において物理的、強制的に拘束されていると判断されるような事態があるとき。	
何らかの団体や組織、あるいは個人が、子どもの福祉に反するような状況下で子どもを生活させたり、働かせたり、管理していると判断されるとき。	
過去に虐待歴や援助の経過があるなど、虐待の蓋然性が高いにもかかわらず、保護者が訪問者に子どもを会わせないなど非協力的な態度に終始しているとき。	
子どもの不自然な姿、けが、栄養不良、泣き声などが目撃されたり、確認されているにもかかわらず、保護者が他者の関わりに拒否的で接触そのものがないとき。	
入院や医療的手立てが必要な子どもを保護者が無理に連れ帰り、屋内に引きこもってしまっているようなとき。	
施設や里親、あるいはしかるべき監護者等から子どもが強引に引き取られ、保護者による加害や子どもの安全が懸念されるようなとき。	
保護者の言動や精神状態が不安定で、一緒にいる子どもの安否が懸念されるような事態にあるとき。	
家族全体が閉鎖的、孤立的な生活状況にあり、子どもの生活実態の把握が必要と判断されるようなとき。	
その他、虐待の蓋然性が高いと判断されたり、子どもの権利や、福祉、発達上問題があると推定されるにもかかわらず、保護者が拒否的で実態の把握や子どもの保護が困難であるとき。	

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

【立入事例】

(6)-6 通告から立入調査決定までの期間と
立入調査実施までの期間

通告から決定に 要した日数	立入決定から実施に 要した日数
日	日

・複数回答可

立入調査の決定から実施までに3日以上要したその理由	チェック
生活態度がつかみきれないため	
情報が不足していたため	
親族、関係者等の協力要請のため	
立入調査の時機を図るため	
そ の 他 具体的記入 []	

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例 】

(6)-7 立入調査の実施に当たり事前に役割分担等の打ち合わせの実施

区 分	延べ回数
事前に協議の場を持った	回
電話等で確認した	回
実施しなかった	回

※警察への協力要請は調査日の何日前か

区 分	チェック
一週間以上	
6 日	
5 日	
4 日	
3 日	
2 日	
1 日	
当 日	

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例 】

(6)-8 立入調査実施の体制

・立入調査の実施に当たって動員した人数

児童相談所	警 察	関係機関	合 計

No.	児相名		対象年度	
-----	-----	--	------	--

【立入事例 】

(6) -9 立入調査時の保護者の状況

・複数回答可

区 分	チェック
強い反発・拒否	
威嚇的・攻撃的	
不 在	
主たる虐待者が不在	
入室できたが、説得に時間がかかった	
パニック状態になった	
粘り強い説得で協力的になった	
親族等による説得で協力的になった	
居留守を使った	
特に抵抗はなかった	
そ の 他	

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

【立入事例 】

(6)-10 立入調査後子どもを一時保護した場合、保護者の対応は
誰が行ったか、また警察への要請

・複数回答可

区 分	延べ回数	警察協力要請
虐 待 班	回	あり なし
担 当 司	回	あり なし
その他（係長、課長、所長等）	回	あり なし
複 数 対 応	回	あり なし

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

【立入事例 】

(6) -11 一時保護中の面会通信の制限をした理由

・複数回答可

区 分	チェック
子どもが拒否したため	
心理的な子どもへの影響が考えられたため	
引取りが懸念されるため	
保護所の場所を教えなかったため	
通信に限り児童相談所経由で認めた	
そ の 他	

No.	児相名	対象年度
-----	-----	------

【立入事例】

(6)-13 一時保護中の子どもの様子

・複数回答可

区 分	チェック
家は嫌いだ、帰りたくない	
施設へ行きたい	
家に帰りたい	
殴らないなら帰りたい	
学校へ行けるのなら帰りたい	
保護者との面会を拒否している	
食行動の異常（過食・拒食・異色・反芻）	
多動・落ち着きのなさ	
腹痛・頭痛等の訴え	
夜中泣き出す・不眠・夜尿	
表情が暗くコミュニケーションが取れない	
身体的接触を求める	
愛着関係がとりにくく試し行動が出る	
反抗的で怒りっぽい	
攻撃的で他の子をいじめる	
そ の 他 具体的記入 []	

